

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成18年7月27日(2006.7.27)

【公開番号】特開2000-241218(P2000-241218A)

【公開日】平成12年9月8日(2000.9.8)

【出願番号】特願平11-41285

【国際特許分類】

G 01 F 1/66 (2006.01)

G 01 F 7/00 (2006.01)

【F I】

G 01 F 1/66 Z

G 01 F 7/00

【手続補正書】

【提出日】平成18年6月12日(2006.6.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】計測流体の流入部と流出部の間に連通し互いに並列に接続された複数の流路と、これ等複数の流路の各流路にその流量を測定するようにそれぞれ設けた超音波流量計と、該流量計の信号を受け合計流量を演算してその流量を表示する電子演算表示部とを具備したことを特徴とする流量計。

【請求項2】前記複数の流路のうち、1つを除く他の流路にそれぞれ開閉弁を配設し、該開閉弁を電子演算表示部の計測流量に応じて開閉することを特徴とする請求項1記載の流量計。

【請求項3】前記各流路にそれぞれ設けた各超音波流量計が同じ口径で同じ容量であることを特徴とする請求項1又は2記載の流量計。

【請求項4】前記開閉弁を配設しない流路に設けた超音波流量計を小容量とし、他の流路の超音波流量計をそれより大きな容量としたことを特徴とする請求項2記載の流量計。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

【課題を解決するための手段】

前記目的を達成するために、請求項1の発明は、計測流体の流入部と流出部の間に連通し互いに並列に接続された複数の流路と、これ等複数の流路の各流路にその流量を測定するようにそれぞれ設けた超音波流量計と、該流量計の信号を受け合計流量を演算してその流量を表示する電子演算表示部とを具備したことを特徴とする流量計である。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

請求項 2 の発明は、請求項 1 の流量計において、前記複数の流路のうち、1つを除く他の流路にそれぞれ開閉弁を配設し、該開閉弁を電子演算表示部の計測流量に応じて開閉することを特徴とするものである。

また、請求項 3 の発明は、請求項 1 又は 2 記載の流量計において、前記各流路にそれぞれ設けた各超音波流量計が同じ口径で同じ容量であることを特徴とするものである。

そして、請求項 4 の発明は、請求項 2 記載の流量計において、前記開閉弁を配設しない流路に設けた超音波流量計を小容量とし、他の流路の超音波流量計をそれより大きな容量としたことを特徴とするものである。